

9. DMAT 隊員として活動する上で自分の長所だと感じる点についてお答えください。

()

以下すべての質問項目については、直近にあなたが活動した事案について記述してください。

II. 被災地での DMAT 活動中の状況

1. 活動場所についてご回答ください（複数回答可）

- 1) 現場活動 2) 医療機関支援 3) 域内搬送 4) 拠点本部活動
5) 広域医療搬送 6) その他()

2. 出勤要請があった時の心境について具体的にご回答ください。

- 回答例 ・ すぐに行って被災地のために活動しようと強く思った
・ 危険が伴うので正直行きたいとは思わなかった

()

3. 医療救護活動中に、あなたの身体に危険を感じた場面がありましたか？

とても危険を感じた	危険を感じた	どちらともいえない	あまり感じなかった	全く感じなかった

1) 上記の活動中で、実際に傷害を受けましたか？ (1)はい (2)いいえ

2) 1)の質問において「はい」と回答した方のみ ご回答ください。

その傷害はどの程度でしたか？

- (1) 重体(生命の危機にかかわった)
(2) 重傷(生命に別条はないが、深い傷を負い全治 30 日以上を要した)
(3) 軽傷(傷の程度が軽微で、全治 30 日未満だった)
(4) その他()

4. 医療救護活動中に心的外傷（PTSD）の原因となり得るような場面に遭遇しましたか？

(1) はい

(2) いいえ

「はい」と回答した方のみ ご回答ください。

それはどのような場面でしたか？具体的にお答えください。

- 回答例：
- ・悲惨な遺体を見た
 - ・被災地が倒壊や焼失によって悲惨な状態になっているのを見た
 - ・自分の身に危険を感じた

[]

Ⅲ. DMAT 活動後の心身の状態

1. 活動後に活動前と比較して心身に何かしらの変化を自覚しましたか？

(1) はい

(2) いいえ

「はい」と答えた方のみ ご回答ください。

それはどのような変化でしたか？具体的にお答えください。

- 回答例
- ・活動時のことを思い出して辛くなることがあった
 - ・不眠になった

[]

Ⅳ. 心身の健康に対する支援体制

1. DMAT 隊員の心身の健康状態に対する支援は十分と感じていますか？

十分である

普通である

考えたことがない/必要ない

不足している

とても不足している

「十分である」「普通である」と回答された方は、以下の
「不足している部分もある」「不足している」と回答された方は、

1)の質問に、
2)の質問に
お答えください。

1) 「十分である」「普通である」と回答された方のみ ご回答ください。

そのように感じる支援とは、具体的にどのようなものかお答えください。

- 回答例
- ・ 活動後の DMAT 事務局より配信される心身健康状態に対するアンケート調査の実施
 - ・ 所属している病院施設による定期健康診断

()

2) 「不足している部分もある」「不足している」と回答された方のみ ご回答ください。

(1) 具体的にはどのような支援が必要だと考えますか？

- 回答例
- ・ DMAT 養成研修時のメンタルヘルス教育
 - ・ 所属している病院施設での活動後の休暇取得

()

V. DMAT 活動に向けたモチベーションのコントロール状況

1. 活動終了後から次の出動前に向けて、自分自身のモチベーションをコントロールしていますか？

常にしている 定期的に行っている たまに行っている 災害発生を知ってからしている 全くしていない

| | | | |

「常にしている」「定期的に行っている」「たまに行っている」と回答された方は 1)の質問に、
「全くしていない」と回答した方は 2)の質問にお答えください。

1) どのようにモチベーションのコントロールを実施しているか、具体的にご回答ください

()

2) モチベーションのコントロールを実施していない理由について具体的にご回答ください

()

2. 今後も DMAT 隊員として活動を継続していく意思についてお答えください。

ずっと続けていきたい	ある程度続けたい	迷っている	そろそろやめたい	すぐにやめたい
------------	----------	-------	----------	---------

上記の回答を選ばれた理由をご回答ください。

[]

V. 我が国の DMAT 活動における課題

我が国の DMAT 活動における課題について、お気付きの点についてご回答ください。

[]

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。